

# TOSHIBA

ビジネスのためのオペレーティングシステム

## Domo

Business Goal Management

Key Goal Indicator

Key Business Requirement

Driver KPI



データドリブン経営における新しいカタチのビジネスマネジメント

“Domo(ドモ)”は“データの収集から加工・情報化(見える化)・情報共有を行う機能”と、“ビジネス異常の迅速な検出と通知、そのマネジメントにあたるヒトのコラボレーションを効率化する機能”を1プラットフォームに集約した、ビジネスのためのオペレーティングシステムです。

## I データドリブン経営におけるマネジメント課題

優れたBIツールの出現に伴い、ビジネスにおけるデータ活用が進み、企業データの統合・経営の見える化などによる重要事業評価指標(KPI)抽出や、データ解析による課題の原因究明等、多くの企業がデータ活用の成果を得ています。

しかし、これらの成果が、ビジネスの目標達成に向けたマネジメントに活かされていない・・・という声が多く企業の経営者から聞こえてきます。なぜなのでしょう。

## II 阻害要因

情報活用環境の課題

情報粒度が合っていない 自分に不要な情報が多い セルフサービスで情報活用できない  
共有出来ない 情報鮮度が低い

**用途の異なる情報が混在  
情報が1か所にまとまっていない**  
目標達成のシナリオに情報が関連付けされていない  
**情報活用環境・ツールがバラバラ**  
モバイルで確認できない 必要な情報が提供されていない  
情報の見逃し 外出時に確認できない  
情報定義が不明確

ヒトの連携の課題

関連した情報がすぐに提供されない 関係者間で課題認識に差がある

**関係者がすぐに集まらない  
課題協議がすぐに開始できない**  
**課題協議の為に資料作成負担  
課題協議の為に打合せ調整負担**  
関係者がいないと分からない 関係者の都合で対策が遅れる  
メールでのコミュニケーションは時間と手間がかかる  
役割分担の進捗が把握できない 課題対策成果の報告負担

## III 課題解決の提案

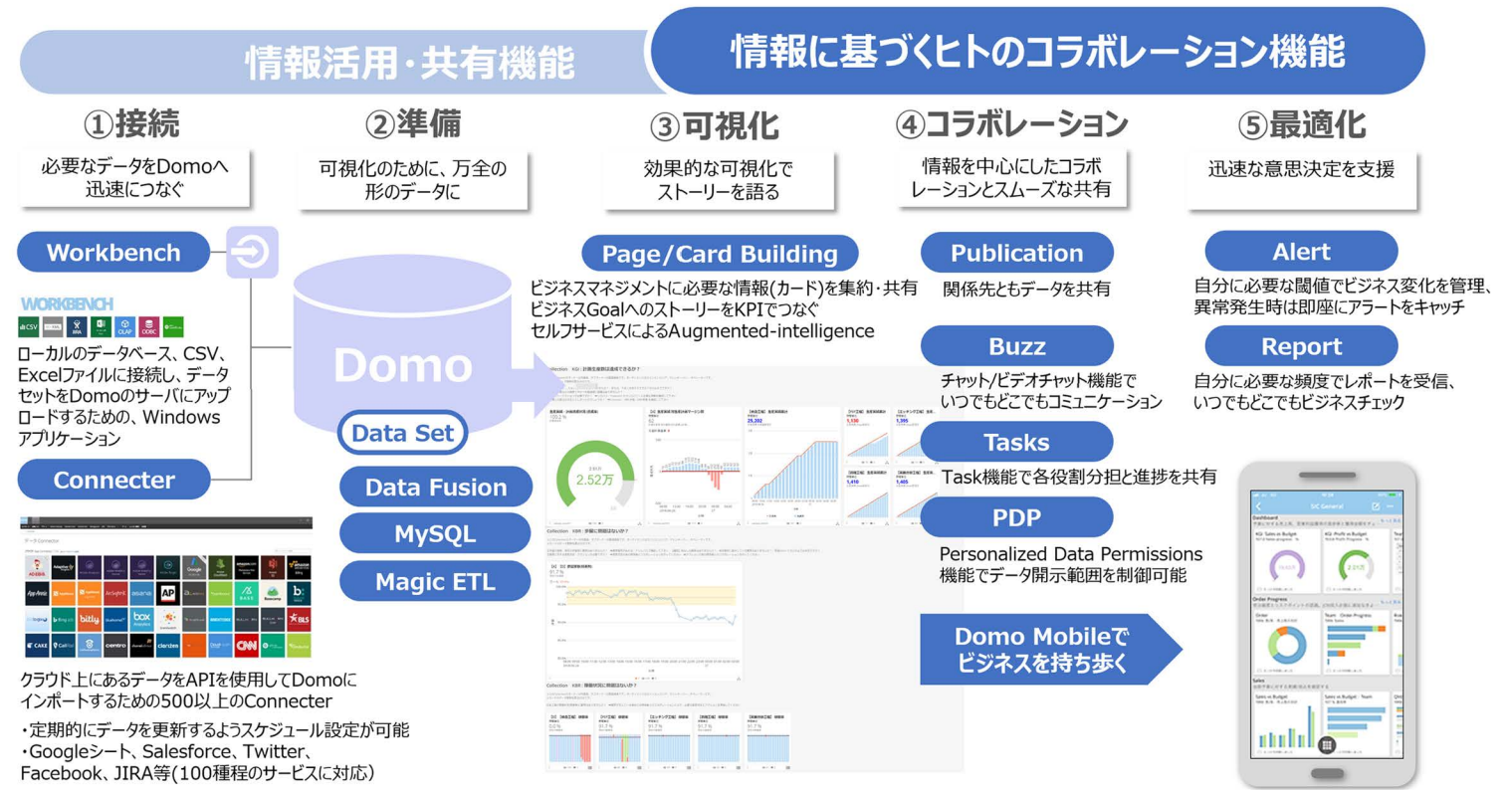
ビジネスマネジメントで重要なことは、設定したビジネスの目標に対して、うまくいっているのか？それともうまくいっていないのか？を分かりやすく把握でき、迅速なアクションにつなげられることです。

- 一目でビジネスの状態を俯瞰的に把握できること。
- ビジネスに生じた課題を即座に検出できること。
- 生じた課題は迅速に情報共有・議論し、解決のためのアクションにつなげられること。
- 必要な情報が常に確認でき、効率的なマネジメント展開が出来ること。

## IV Domoはビジネスのためのオペレーティングシステム

Domoは、ビジネスマネジメントに必要な2つの機能、即ち、“データの収集から加工、情報化、共有を行う情報活用機能”と、“ビジネス課題の迅速な検出と通知、そのマネジメントにあたるヒトのコラボレーション(コミュニケーション・意思決定・アクション設定・レポート等)を効率化する機能”を1プラットフォームに集約することで、情報の活用と、迅速な意思決定を支援します。さらにモバイル機器との連携により、効率的なマネジメントを実現します。

## V Domoの機能



**情報を効果的に活用する**

- ビジネス目標達成に必要な情報をDomoに集約
- 目標達成のストーリーに沿った情報配置・関連付け
- 各関係先との連携に必要な情報をシェア
- 自業務に必要な情報はセルフサービスで活用

**ヒトのコラボレーションを円滑化する**

- ビジネス課題はアラート機能で迅速にキャッチ
- 情報を参照しながらその場で関係者と意思決定
- アクションの状況はTasksで進捗管理
- モバイル連携で重要な情報の見逃しを抑制

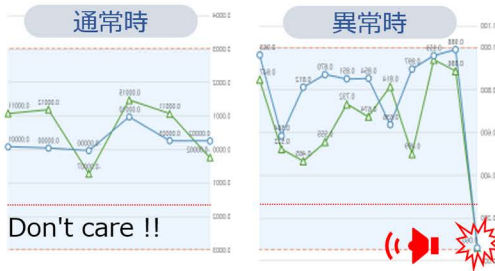
# VI

## 特徴

アラート:異常を検出し、即座に関係者に通知

チャット:データに基づく迅速なコミュニケーション

Domoモバイル:効率的なマネジメント



ビジネスの異常に対し、即座にアクションにつなげる必要のある情報にはアラート機能を活用します。自分自身がアクションを起こすために必要な閾値でアラートを設定し、迅速なアクションにつなげます。また、アラートが通知されていない場合は・・・Don't care !! 他の仕事に専念すれば良いのです。

異常発生時はもちろん、データや情報に疑問を感じたら、その場ですぐに必要な人とチャットコミュニケーションを開始することが可能です。チャットには関連するグラフやドキュメントファイルも添付でき、データに基づくコミュニケーションから課題解決の意思決定・アクション促進を支援します。

Domoのモバイルアプリを活用すれば、さらに効率的なビジネスマネジメントを実現します。ビジネスの状態確認だけでなく、アラート通知の受信や関係者とのコミュニケーション、さらにタスクの進捗フォローまでも、Domoで持ち歩くことが可能になります。

# VII

## Domo導入効果

ビジネスの目標達成に向け、迅速にビジネスのPDCAを回せるようになります。

- 一目でビジネスの状態を俯瞰的に把握できるようになります。
- ビジネスに生じた課題を即座に検出できるようになります。
- 生じた課題は迅速に情報共有・議論し、解決のためのアクションにつなげられるようになります。
- 必要な情報が常に確認でき、効率的なマネジメント展開が出来るようになります。

# VIII

## 当社のDomo活用ソリューション

当社は、東芝グループのモノづくりにおいて、お客様の生産性向上に向けたシステム開発や、経営効率向上に向けたデータ活用を支援して参りました。これまで培ってきた経験と技術を活かし、お客様の経営効率向上につながるDomo活用成果の最大化を目指し、Domo導入から運用サポートまでトータルで支援して参ります。

Domo商品取扱いのラインアップ

- Domoライセンス販売
- Domoトレーニング販売
- Domo Apps販売
- プロフェッショナルサービス販売(PoC支援、Domo導入支援、運用支援)



当社はDomoの認定パートナーです

- 本資料に掲載してある技術情報は、技術内容を説明するためのもので、その使用に際して当社および第三者の知的財産権その他の権利に対する保証または実施権の許諾を行うものではありません。
- Domo(ドモ)は、Domo, Inc.(本社：米国ユタ州、CEO：ジャシュ・ジェイムス)が開発・提供するクラウド型のビジネスオペレーティングシステムです。Domoは、Domo, Inc.の登録商標または商標です。
- 本資料の掲載内容は、技術の進歩などにより予告なしに変更することがあります。

東芝デベロップメントエンジニアリング株式会社

〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地 (ソリッドスクエア東館18階)

メール：DME-contact-us@ml.toshiba.co.jp URL：https://www.toshiba-dme.co.jp/dme/

このカタログの掲載内容は2019年4月現在のものです。